

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2670500376		
法人名	社会福祉法人 洛和福祉会		
事業所名	洛和グループホーム久世 1階		
所在地	京都府京都市南区久世上久世34-2		
自己評価作成日	平成23年1月15日	評価結果市町村受理日	平成23年5月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様が、日々楽しく過ごしていただけるように、支援していく。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://kohyo_kvoshakyo.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2670500376&amp;SCD=320">http://kohyo_kvoshakyo.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2670500376&amp;SCD=320</a>
----------	---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

洛和会ヘルスケアシステムの一つである当該ホームは「日々楽しく」をホーム独自の理念とし、笑顔を増やそうとする日々を送れるように利用者の思いを汲み取った利用者本位の生活が出来るように取り組んでいます。常に「気配り、心配り、目配り」を心がけ家族のように温かい心でケアに当たっています。また、日々ホームだけで過ごすことのないように1日に1回は外に出て外気浴や買い物、散歩などに出かけ、利用者の誕生日には希望に応じて行きたい所に出かけたり、年間行事を立て月に1回は外出出来るようにしています。また、近隣の人から畑の収穫物を頂いたり、寺や道路の掃除に参加したり、地域の祭りに声を掛けてもらい参加するなど地域とのふれあいや繋がりを大切にしているホームです。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター		
所在地	〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目4番17号 千代田第1ビル		
訪問調査日	平成23年2月22日		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念「日々楽しく」を玄関に掲げて、常に認識できるようにしている。利用者様の要望を主体にレクリエーションをしたり、ボランティアさんの参加もとりにしている。	「日々楽しく」をホーム独自の理念としています。職員は笑顔を忘れずケアする事で利用者が楽しい日々を送れるように支援しています。子どもたちとの交流や行事に参加し、地域との繋がりを大切にしながら楽しい日々が送れるように努めています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	食材や花は地元の店舗を利用している。民生委員さんやオーナーにも運営推進会議に参加していただき、意見交換はしているが、日常的な交流はあまりない。	地域の方から情報を頂いたり声を掛けてもらう事もあり、保育園の運動会や祭りの見学に行ったり体操教室や年に2回の道路掃除等に参加しています。また、多くのボランティアの来訪や認知症の講演をホームで開催するなど地域の人達に来てもらえるように取り組んでいます。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議での交流や報告は出来ているが、広く地域の人々に向けての発信は出来ていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一度実施し、議事録を配布している。	運営推進会議は、家族や区役所職員、地域包括支援センター職員、後見人、オーナー等の参加を得て2ヶ月に1回開催しています。ホームから活動報告や現状報告、アンケート結果を報告して、参加者との意見交換をしています。出された意見を運営に繋がるようにしています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に地域包括から参加してもらっている。南区介護保険サービス連絡協議会に参加している。	区の職員は運営推進会議に参加があり、区が主催する介護サービス連絡協議会に参加し、意見交換をしています。運営推進会議録は法人が一括して送っていますが、今後、直接届けて相談に乗ってもらえるような関係の構築を図りたいと考えています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを参考に全職員が意識し取り組んでいる。	玄関は施錠していますが、ユニット入口はにセンサー対応で、外出したい様子を感じたら一緒に出かけています。法人の身体拘束についての研修に参加し、伝達研修をしています。「ちょっと待つ」とは言わずに利用者が思い思いの行動が出来るように取り組んでいます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルを参考に全職員が意識し取り組んでいる。		

洛和グループホーム久世(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会は多くは持っていないので、今後知識を深めていきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	規定、重要事項説明書等、書面も使いながら、説明している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時のコミュニケーションを大切にしている。その際に意見をお聞きし、運営に反映させている。玄関に投書箱を設置している。	面会やケアプランを確認してもらう時、状況に変化があった時等は電話で常に連絡を取りながら意見や要望を聞くようにしています。出された要望はミーティングで話し合い解決策を家族に報告しています。また、年2回満足度アンケートを実施し家族に結果報告を送付しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員、管理者、事業所所長、統括による定期的な面接を行い、意見を聞いている。フロア毎のミーティングも適時行っている。	月に1回のカンファレンスや日々の申し送り時には意見や要望を聞いています。年2回、自己申告書を用いて面談する機会やアンケートを行っています。アンケート結果は皆が見られる場所に置き、連絡ノートで職員は情報の共有をしています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	力量評価で個々の状況を把握し向上を目的にアドバイスをしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の力量把握のうえ、本部研修、各種研修に参加できるよう調整している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	府GH協議会、南区協議会への参加や、組織内で他事業所との研修、イベントを通じて情報の交流をしている。		

洛和グループホーム久世(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談員、管理者、計画作成者が入居前の面接を行う。施設見学をしてもらう。センター方式を利用している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談員、管理者、計画作成者が入居前の面接を行う。施設見学をしてもらう。センター方式に記入してもらう。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家人、職員が連携をとり、サービスを見極める。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来ることをしてもらい、生活を手助けしてあげる関係から、より絆を深めていく。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会、行事参加により、良好な関係を基に、本人を支えている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	過去の話を傾聴し、生活への活力につなげる。自由に面会にきていただき関係を保ってもらっている。	誕生日には希望に応じて行きたい場所に出かけています。電鉄職員だった利用者にはドライブで線路を眺めに行ったり、自宅の周りをドライブや畑を心配されている人には野菜の出来具合を確かめに一緒に出かけています。また、知人や友人の来訪もあり電話で家族等とのやり取りもしています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	常に利用者様同士のかかわりには目をむけている。助けあえる関係への手助けや、トラブルへの配慮を心がけている。		

洛和グループホーム久世(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院により転居された入居者様のお見舞いに行く。又他施設へ移られた時には面会に行く。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を活用している。本人や家人の意見、希望を大事にしている。	利用前には家庭訪問や家族にセンター方式を記入してもらい多くの情報を得ています。入居後はコミュニケーションを多く取りながら寄り添い、表情や行動から把握できるように努めています。また、今までのケアマネージャーやサービス事業者からの情報ももらっています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を活用している。家族とのコミュニケーションから把握できるように努めている。本人を理解し寄り添えるように努力している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りや個人ノートで日々の変化について報告している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	三ヶ月ごとにカンファレンスを行いケアプランの作成をする。	入居後すぐはホームでの生活に馴染んでもらえるような計画を立て、4週目からセンター方式を利用して一人ひとりに合わせた介護計画を立てています。来訪時や3カ月後に希望記入用紙を家族に書いてもらい、全職員の意見を取り入れたカンファレンスを開催し計画を見直しをしています。また必要があれば医師の意見も取り入れています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	詳細はケース記録に、また個人的な連絡は個人別連絡ノートに記入し情報を共有する。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の方のニーズに対しその日その日に変わるニーズに対し臨機応変に対応を心掛けている。		

洛和グループホーム久世(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防訓練、非難訓練を行っている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の希望で入居前の主治医へ受診されている方は1名、洛和会の医療施設を利用されている方は8名。	入居時にかかりつけ医を継続できる事を説明しています。協力医の往診が月2回、訪問看護が週1回あり、24時間連携が取れるようにしています。歯科は医師や衛生士の来訪が週1回あり、鍼灸師による訪問マッサージは希望があれば毎日でも訪問してくれています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護をうけている。常に状態の報告、相談をしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院の相談員と事業所の相談員が連絡を取り合っている。職員も情報を共有している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人、家人、の意向を尊重し、希望にそえるよう取り組んでいる。	入居時に法人の方針を説明しています。その時の状況に応じて医師や看護師の来訪時に家族にも来てもらい今後予測される状況も細かく伝えながら話し合っています。また、家族アンケートで重度化や終末期についての結果を家族に伝える事で、ホームでの取り組みを理解してもらい、安心して過ごせるように取り組んでいます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命救急の研修を定期的に行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の指導による避難訓練、事業所独自の避難訓練をしている。	年2回消防署立ち会いのもと、消火器の使い方や避難訓練を行い、指導やアドバイスももらっています。また、2ヶ月に1回ホーム独自で職員が気になることや出火場所を想定した避難訓練をしています。	ホーム近隣には住宅が少なく、協力を得る事は難しいですが、運営推進会議で話題にしたり、近隣のコンビニとのつながりがある事で協力を呼び掛けてははいかがでしょうか。

洛和グループホーム久世(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に気をつけている。	業務優先するのではなく、利用者本位の生活が出来るように心がけています。職員に命令口調や不適切な対応が見られた時にはその都度注意しています。利用者を尊重し、利用者の立場になっての対応が出来るようにしています。同性介護で羞恥心を感じさせない様に利用者に応じた対応をしています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々の思いが出せるよう、気をつけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしい生活を優先している。どんな時に嬉しいのか、不安なのか理解してあげる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ビューティーヘルパーを利用している。本人の希望により、地域の美容院も利用する。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理が得意な人には、調理を手伝ってもらう。	前日に地域の店に注文して当日の朝に届いた食材で、利用者の希望も取り入れ献立を決めています。米とぎから味見、後片付けまで、利用者が出来る事を一緒にしています。職員は同じテーブルに着き、同じ物を頂き楽しい食事時間になっています。また、週の半分は手作りのおやつでホットケーキを作ったり、抹茶を立てて楽しむ事もあります。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各個人の摂取量を把握し、チェック表を参考に体調管理に取り組んでいる。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアをしている。義歯は週2回ポリドントにつけている。週1回歯科衛生士によるケア、三ヶ月に1回医師のチェックを受ける。		

洛和グループホーム久世(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	それぞれの排泄パターンを把握し、トイレ誘導も他の人にきずかれぬよう誘導している。	排泄表を利用し、利用者の顔の表情や行動を見ながら声かけや誘導しています。紙パンツは使用せず失禁パンツを利用してトイレで排泄が出来るようにしています。夜間は安全の為ポータブルトイレを使用している方もいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	それぞれのリズムを把握して、食事内容や、ナースや医師の指示で、薬でのコントロールもしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	本人の希望にあわせて入浴してもらっている。拒否のある場合は、状況にあわせて声かけをしていく。	入浴したい希望があればすぐに準備し、週2~3回は入っています。毎日の入浴も可能で、一人ずつ湯を入れ替え、ゆず湯など季節を楽しんだり職員とゆっくり会話を楽しんで入っています。拒否傾向の利用者にはお気に入りの職員が対応し入ってもらう様にしています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望にあわせた安眠を優先し環境を整えている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬ファイルで全職員が、内容、時間を把握している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方に合った楽しみ、役割を理解し支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物、ドライブ、散歩、外気浴等、希望に添えるよう支援していく。年間行事に希望を取り入れ、家人の参加も声かけしている。	養鶏場に卵を買いに行ったり、コンビニやスーパーに買い物に出かけています。年間行事を計画し、初詣、花見、もみじ狩り等に出かけ敬老会には家族にも参加を呼びかけ、福祉会館で出し物を楽しんでいます。1日1回は外気に触れるようにしています。	



洛和グループホーム久世(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は、家族の了解のもと、事業所が預かっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙をかいて出したり、家人に電話をしてもらい安心してもらえるようにしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は、利用者様の手作り作品、行事の写真、花等でくつろげる空間を作っている。	明るく広いリビングには、孵化したばかりの小さい金魚と大きく成長した金魚の二つのガラスケースがあり成長過程を楽しんでいます。利用者が活けた花やちぎり絵、家族が面会に来たときに見てもらえるように行事で楽しい様子の写真が多く飾られています。また、格子戸が多く使われ京都らしい建物となっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様同士の会話がはずむように空間作り、ソファの位置を配慮している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	昔からの使いなれた家具や衣類等、好みに合わせて自由にしてもらっている。	東側、南側にある居室は光が差し込む明るい場所にあり、テレビ、冷蔵庫、大切にしていた仏壇やドレッサー等を持ち込んでいます。個人で定期的に生花を届けてもらい活ける事で、その人らしい居室になっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室に表札をかける。座席には各々の座布団をおき、居場所を認識してもらう。得意なことを生活に生かしてもらえるよう心がけている。		